ヒト味違う“オモシロ”さ！

FUJI

FUJI-SHOJI GROUP

決算説明資料

株式会社 藤商事　2026年3月期　第2四半期（中間期）

2025年11月7日

JPX STANDARD

証券コード　6257

目 次

１．決算ハイライト　P.2

２．決算概況　P.4

３．パチンコ・パチスロ市場の見通し　P.12

４．2026年3月期　通期業績計画　P.15

５．資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応　P.18

©藤商事

1．決算ハイライト

ヒト味違う発想で、一歩先の“オモシロ”さを目指して！

決算ハイライト

販売台数（累計）

パチンコ遊技機　22,148台

対前年同期比　▲31,342台

パチスロ遊技機　0台

対前年同期比　▲10,048台

売上高

88億51百万円

対前年同期比 ▲162億62百万円
（▲64.8%）

経常利益（損失）

▲36億21百万円

対前年同期比 ▲94億55百万円
（—%）

決算サマリー

- 当中間連結会計期間において、パチンコ遊技機を3機種を市場投入。パチスロ遊技機の市場投入は行わなかった。
  パチンコ遊技機では、ラッキートリガー3.0プラスとBIGスタートを搭載した
  「e一方通行　とある魔術の禁書目録」（6月発売）、「e女神のカフェテラス」（7月発売）を市場投入。

- 販売台数は対前年同期比で41,390台減少。

- 売上高・経常利益（損失）については、投入機種数及び販売台数の減少により、対前年同期比を下回る。

2. 決算概況

ヒト味違う発想で、一歩先の“オモシロ”さを目指して！

第2四半期（中間期） 決算概況① 発売機種（新規タイトル）

パチンコ遊技機

P痛いのは嫌なので
防御力に極振りしたいと思います。
（2025年4月導入）

©2020 夕蜜柑・狐印／KADOKAWA／防振り製作委員会

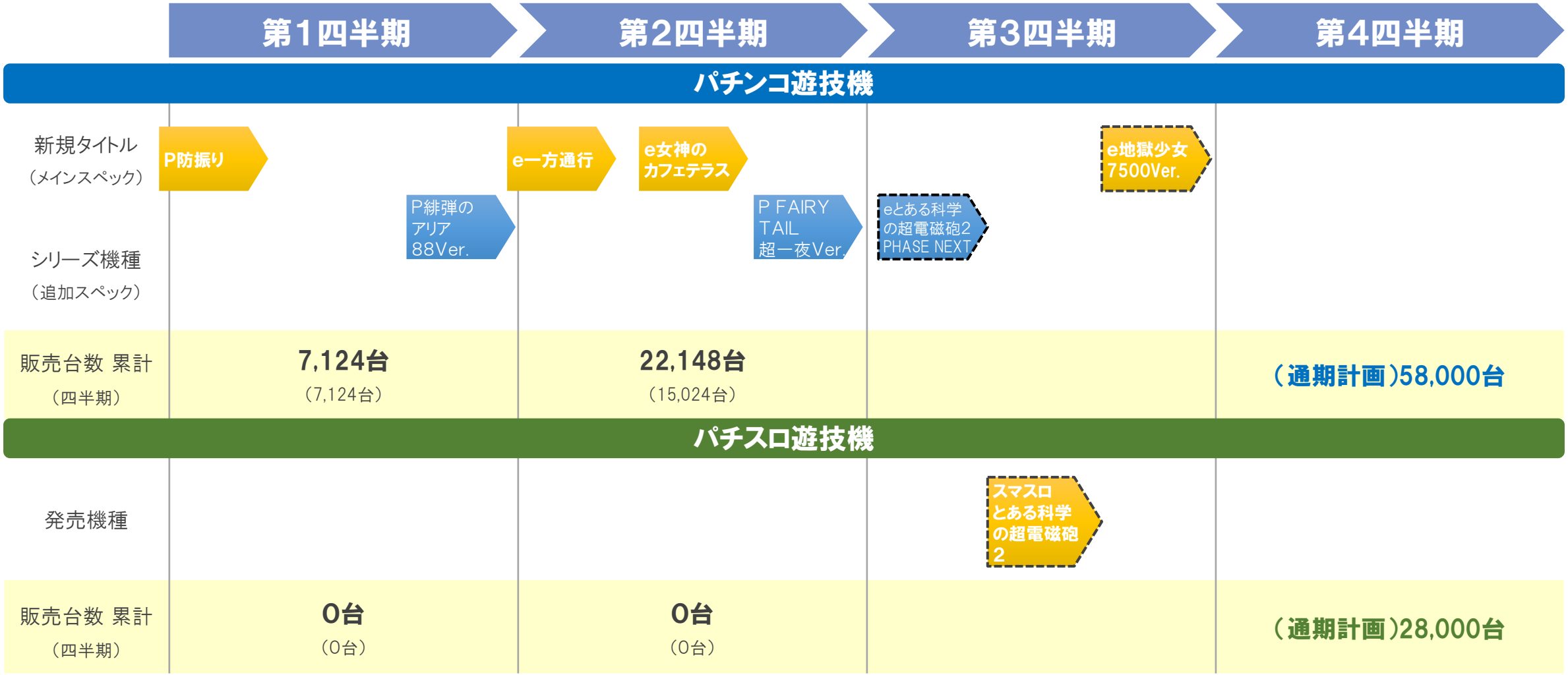
BIGスタート （アクセラレータ）**e一方通行** （インデックス）**とある魔術の禁書目録**
（2025年6月発売）

©2017 鎌池和馬／KADOKAWA アスキー・メディアワークス／PROJECT-INDEX Ⅲ
©2018 鎌池和馬／冬川基／KADOKAWA／PROJECT-RAILGUN T

BIGスタート **e女神のカフェテラス**
（2025年7月発売）

©瀬尾公治／講談社
©瀬尾公治・講談社／「女神のカフェテラス」製作委員会・MBS

決算概況② 当期導入機種



©藤商事

決算概況③　損益計算書

（単位：百万円）

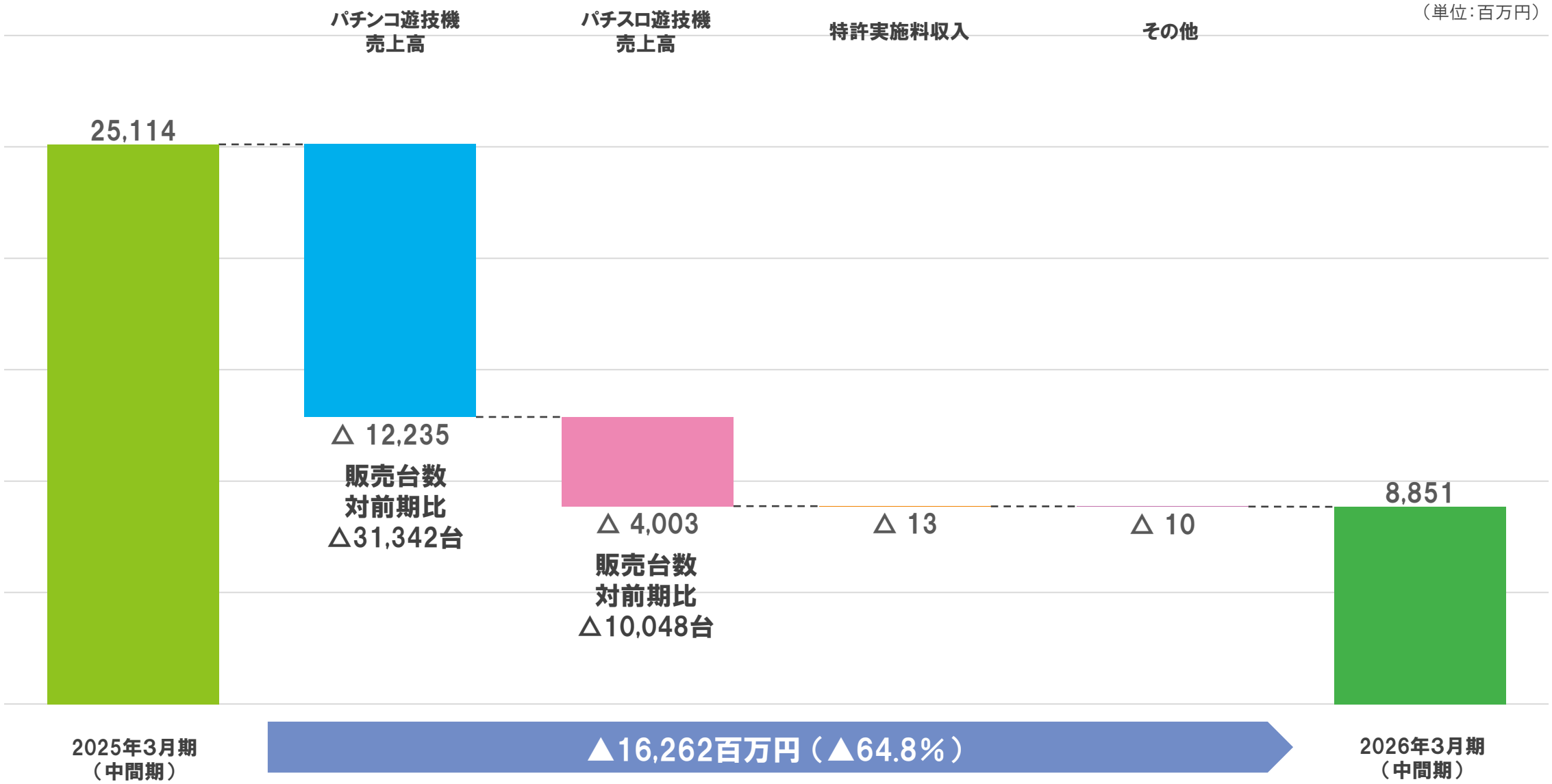
		2025年3月期（中間期） 金額	構成比	2026年3月期（中間期） 金額	構成比	対前期実績 増減 金額	率差
販売台数	パチンコ	53,490台	84.2%	22,148台	100.0%	△ 31,342台	＋ 15.8pt
	パチスロ	10,048台	15.8%	0台	0.0%	△ 10,048台	△ 15.8pt
	合計	63,538台	100.0%	22,148台	100.0%	△ 41,390台	－ pt
売上高		25,114	100.0%	8,851	100.0%	△ 16,262	－ pt
売上原価		11,777	46.9%	4,857	54.9%	△ 6,919	＋ 8.0pt
売上総利益		13,337	53.1%	3,993	45.1%	△ 9,343	△ 8.0pt
販管費		7,611	30.3%	7,747	87.5%	＋ 135	＋ 57.2pt
営業利益（損失）		5,725	22.8%	△ 3,753	－	△ 9,478	－
経常利益（損失）		5,833	23.2%	△ 3,621	－	△ 9,455	－
当期純利益（損失）		3,809	15.2%	△ 2,997	－	△ 6,807	－
1株当たり当期純利益（損失）		182.30円		△ 143.31円		△ 325.61円	

増減要因

- **販売台数**
  前年同期から約4.1万台減少
- **売上高**
  販売台数の減少により、売上高が減少
- **売上原価率**
  スマートパチンコの販売により、
  本体販売の比率増加し、
  売上原価率が上昇。

決算概況④　売上高増減要因（前期対当期）

（単位：百万円）



決算概況⑤　販管費の内訳

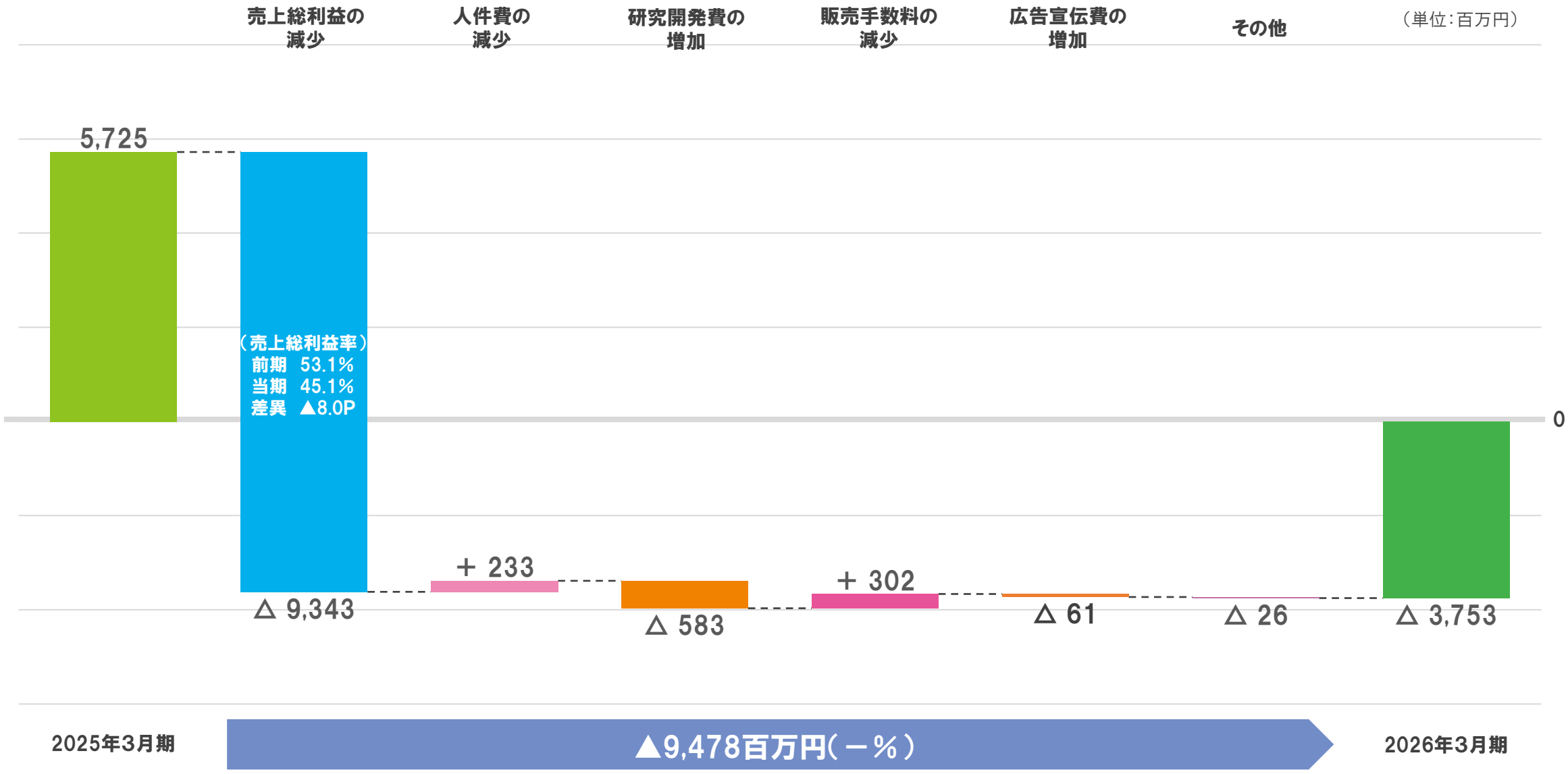
（単位：百万円）

	2025年3月期（中間期）		2026年3月期（中間期）		対前年同期　増減		2026年3月期（通期予算）		通期予算使用率
	金額	対売上比	金額	対売上比	金額	率差	金額	対売上比	
販売費及び一般管理費									
人件費	1,495	6.0%	1,262	14.3%	△ 233	＋ 8.3pt	2,300	6.3%	54.9%
研究開発費	3,764	15.0%	4,348	49.1%	＋ 583	＋ 34.1pt	8,500	23.3%	51.2%
販売手数料	402	1.6%	100	1.1%	△ 302	△ 0.5pt	700	1.9%	14.3%
広告宣伝費	330	1.3%	392	4.4%	＋ 61	＋ 3.1pt	1,000	2.7%	39.3%
その他販管費	1,617	6.4%	1,643	18.6%	＋ 26	＋ 12.1pt	3,100	8.5%	53.0%
販管費　合計	7,611	30.3%	7,747	87.5%	＋ 135	＋ 57.2pt	15,600	42.7%	49.7%

増減要因・進捗

- **人件費**（対前年同期　▲233百万円）
  賞与引当金が減少。
- **研究開発費**（対前年同期　＋583百万円）
  パチンコ・パチスロ遊技機のソフト開発費が増加。
- **販売手数料**（対前年同期　▲302百万円）
  前年同期より販売台数が減少したため、販売手数料が減少。
- **広告宣伝費**（対前年同期　＋61百万円）
  「anime blast」の継続実施により、広告宣伝費が増加。
- **その他販管費**（対前年同期　＋26百万円）
  PC入替費の増加など。

決算概況⑥　営業利益増減要因（前期対当期）



決算概況⑦　貸借対照表

（単位：百万円）

	2025年3月期		2026年3月期（中間期）		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	32,425	61.0%	28,726	56.8%	△ 3,699
現金及び預金・有価証券	21,651	40.7%	15,279	30.2%	△ 6,372
商品及び製品	15	0.0%	772	1.5%	＋ 756
売上債権	1,785	3.4%	2,849	5.6%	＋ 1,064
その他	8,973	16.9%	9,825	19.4%	＋ 852
固定資産	20,745	39.0%	21,871	43.2%	＋ 1,126
有形固定資産	7,063	13.3%	7,248	14.3%	＋ 184
その他	13,681	25.7%	14,623	28.9%	＋ 942
資産合計	53,170	100.0%	50,598	100.0%	△ 2,572
流動負債	4,573	8.6%	5,171	10.2%	＋ 597
仕入債務	2,266	4.3%	3,391	6.7%	＋ 1,124
その他	2,307	4.3%	1,780	3.5%	△ 527
固定負債	1,818	3.4%	1,543	3.1%	△ 274
負債合計	6,391	12.0%	6,715	13.3%	＋ 323
純資産合計	46,778	88.0%	43,883	86.7%	△ 2,895

参考情報

	前期末	当中間期
現金及び預金	21,551	14,879
有価証券	100	400
計	21,651	15,279

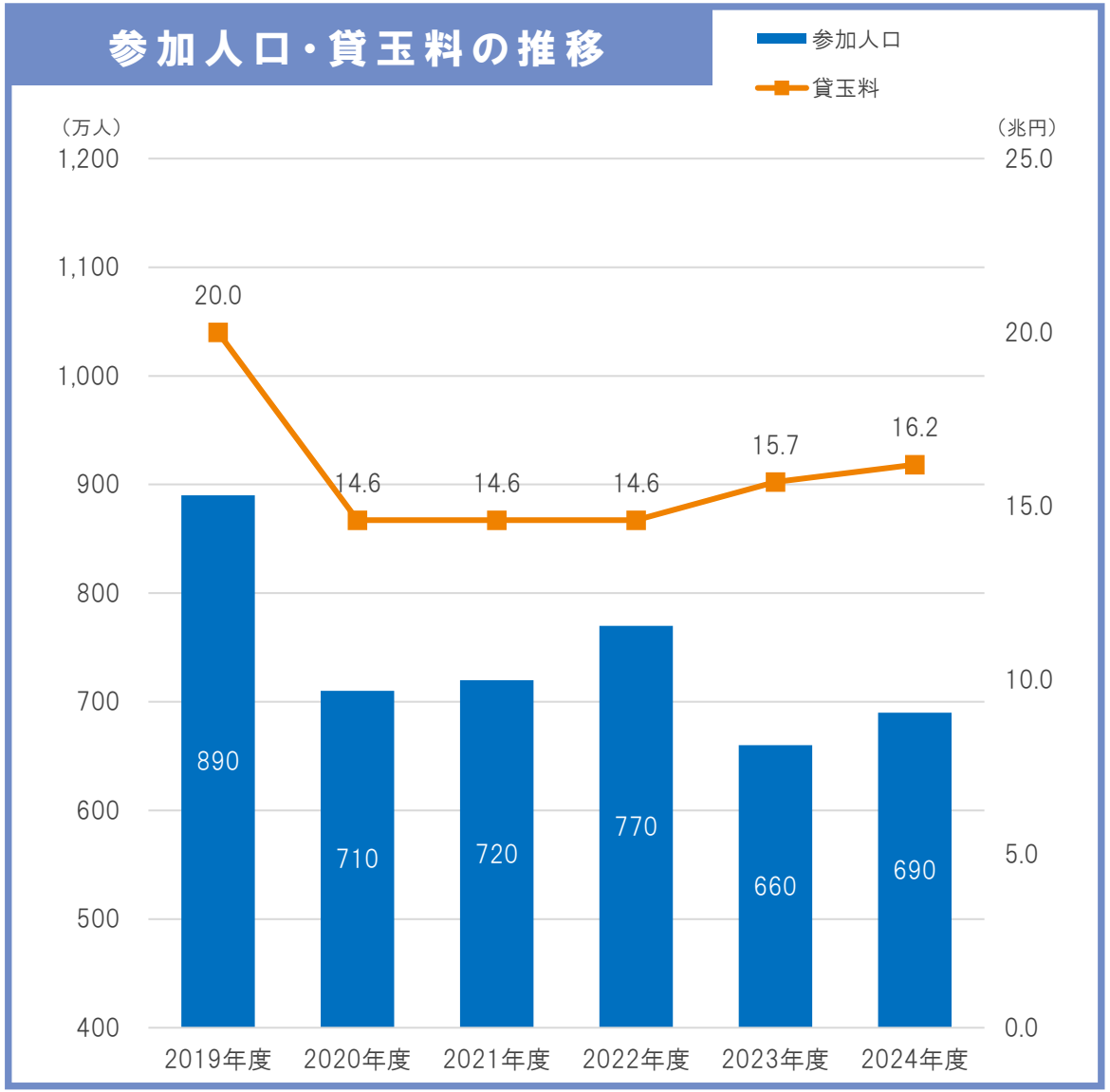
	前期末	当中間期
流動比率	709%	556%
当座比率	512%	343%
自己資本比率	88.0%	86.7%
ROE	5.7%	△ 6.6%

3. パチンコ・パチスロ市場の見通し

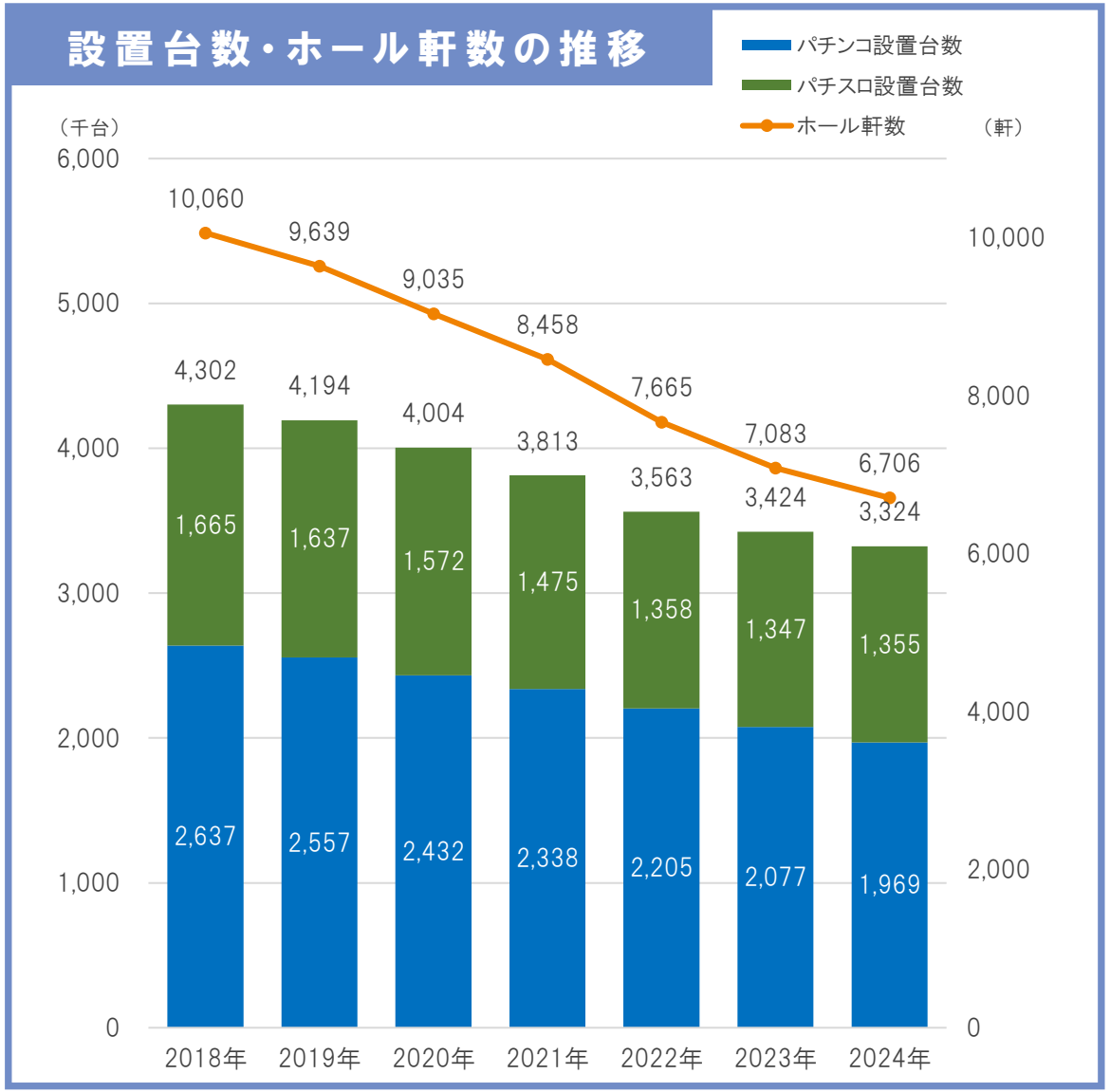
ヒト味違う発想で、一歩先の“オモシロ”さを目指して！

パチンコ・パチスロ市場の推移

参加人口・貸玉料の推移



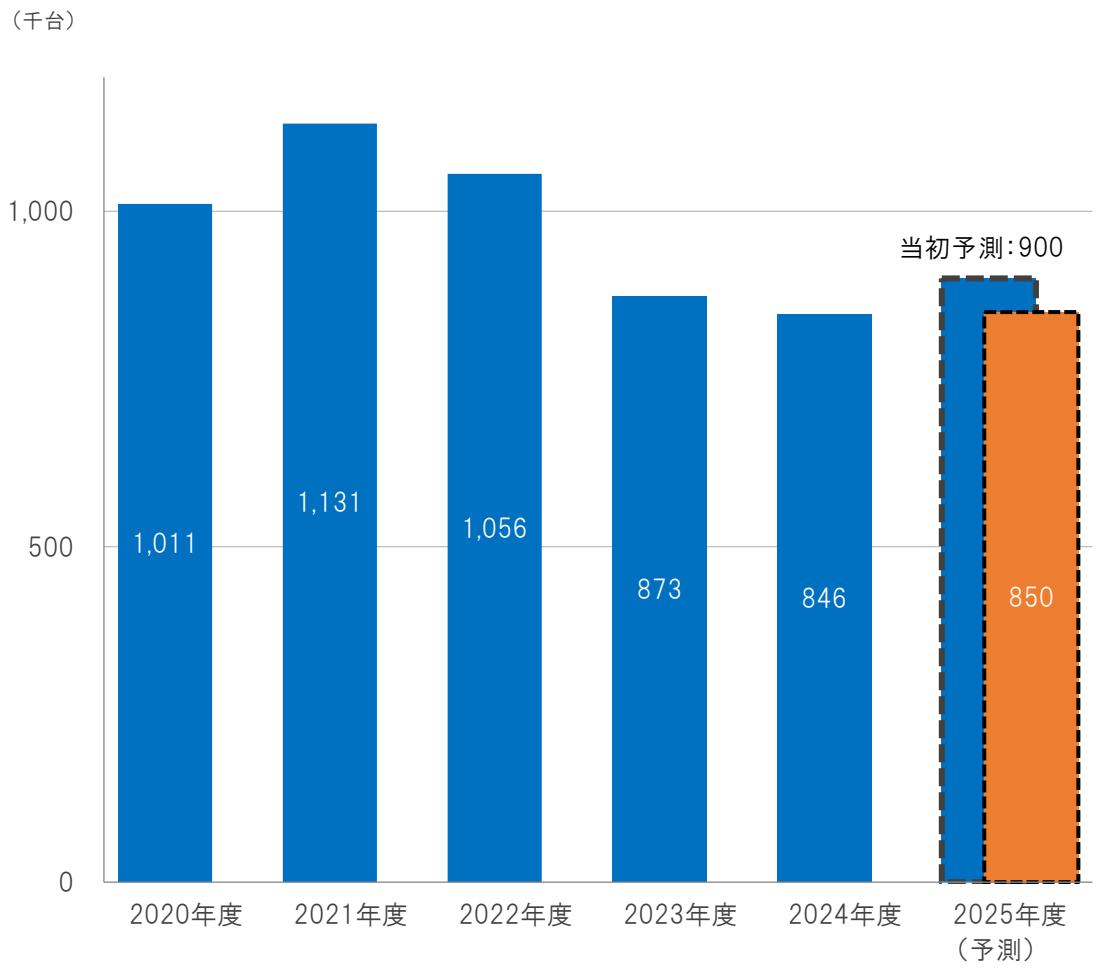
設置台数・ホール軒数の推移



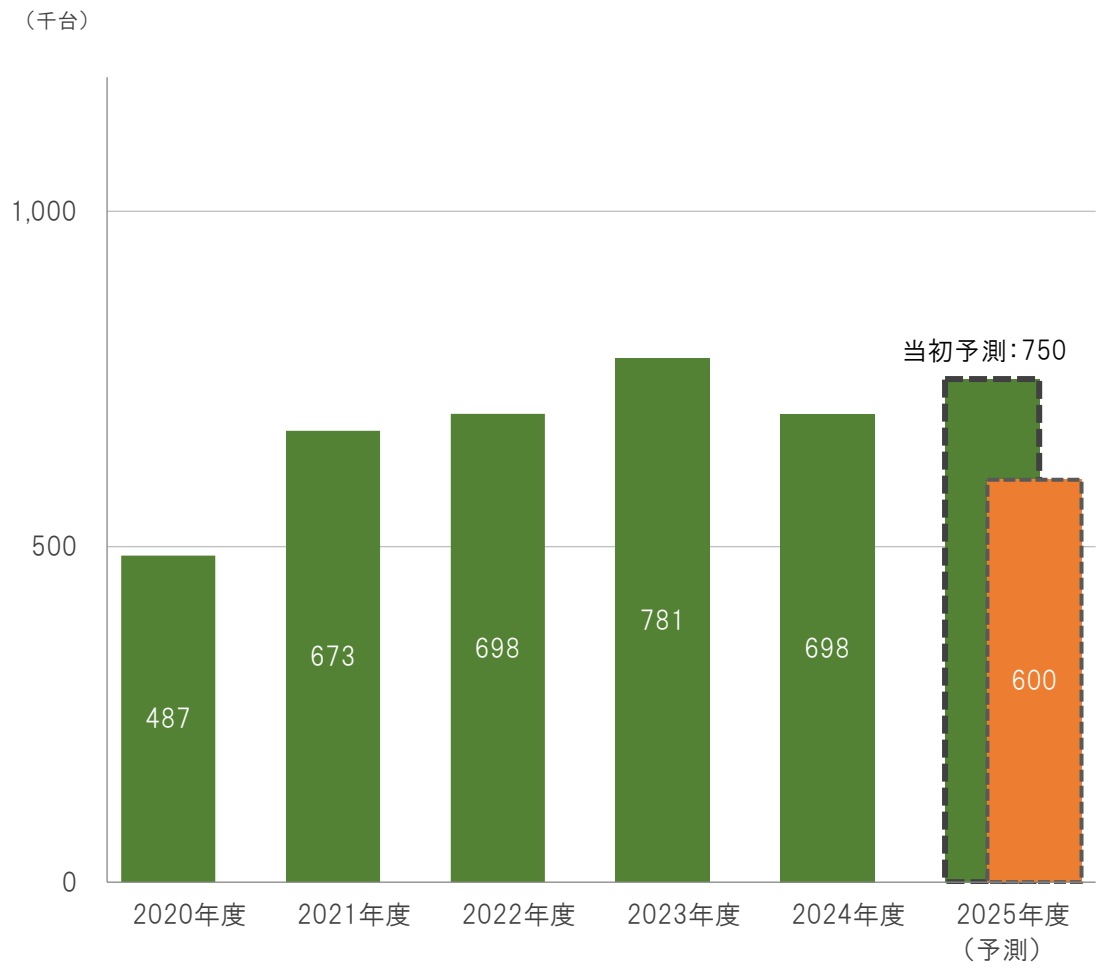
出所：日本生産性本部『レジャー白書2024』（参加人口・貸玉料）、警察庁（ホール軒数・設置台数）

遊技機市場の販売台数推移

パチンコ遊技機の市場販売台数



パチスロ遊技機の市場販売台数



データ出所：㈱矢野経済研究所「2025年版　パチンコ関連メーカーの動向とマーケットシェア」より2020年度～2024年度の実績値、2025年度は当社予測値

4. 2026年3月期　通期業績計画

ヒト味違う発想で、一歩先の“オモシロ”さを目指して！

2026年3月期第3四半期　導入予定機種

パチンコ遊技機

廻らぬ怨み、晴らします。
役物振分式BIGスタート機第2弾！

BIGスタート **e地獄少女7500Ver.**
（2025年12月導入予定）

©地獄少女プロジェクト／宵伽製作委員会

パチスロ遊技機

ゲーム数管理ATの弱点を克服した
超進化系パチスロ！

スマスロ　とある科学の超電磁砲（レールガン）2
（2025年11月導入）

©2018 鎌池和馬／冬川基／KADOKAWA／PROJECT-RAILGUN T

2026年3月期　通期業績計画

（単位：百万円）

		2026年3月期（中間期実績） 金額	構成比	2026年3月期（通期計画） 金額	構成比	進捗率
販売台数	パチンコ	22,148台	100.0%	58,000台	67.4%	38.2%
	パチスロ	0台	0.0%	28,000台	32.6%	0.0%
	合計	22,148台	100.0%	86,000台	100.0%	25.8%
売上高		8,851	100.0%	36,500	100.0%	24.2%
営業利益（損失）		△ 3,753	－	3,100	8.5%	－
経常利益（損失）		△ 3,621	－	3,200	8.8%	－
当期純利益（損失）		△ 2,997	－	2,200	6.0%	－
1株当たり当期純利益（損失）		△ 143.31円		105.23円		
1株当たり配当金		ー 円		55円		
配当性向（連結）		ー ％		52.3%		

※1株当たり配当金は中間配当25円と期末配当30円を予定しております。

通期計画

- パチンコ遊技機
  「e地獄少女7500Ver.」
  パチスロ遊技機
  「スマスロ　とある科学の超電磁砲2」
  を第3四半期に導入予定。

5. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

ヒト味違う発想で、一歩先の“オモシロ”さを目指して！

資本コストや株価を意識した経営①　現状分析【ROE】

現状の株主資本コストの算出方法について

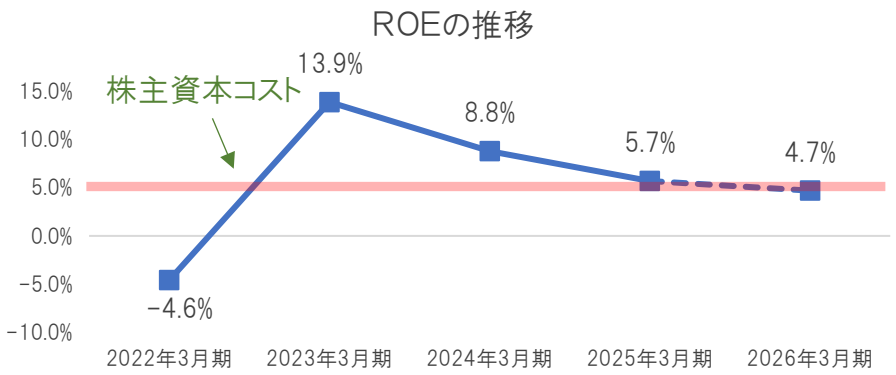
【株主資本コスト(%)】

リスクフリーレート		ベータ(β)値		リスクプレミアム		株主資本コスト
10年国債利回りをベースに設定	＋	TOPIX	×	5%と設定 ※CAPMより算出	＝	5.0%

・当社グループの株主資本コストは、5%であると認識

✓客観的な資本コストの参考値の1つとして、CAPMを使用
✓リスクフリーレートは、国内の長期金利を使用
✓β値については、当社2年週次βを使用
✓リスクプレミアムについては、日本株式市場が一般的に5%～6%程度という見方をされるケースが多いため、5%を使用

ROE(自己資本当期純利益率)の推移



・2022年3月期は、コロナ禍による影響で、株主資本コストを大きく割り込む。

・2023年3月期以降、株主資本コストを確保するROEを維持。

・現在、ROE≒株主資本コストとなっており、ROEの改善が必要。

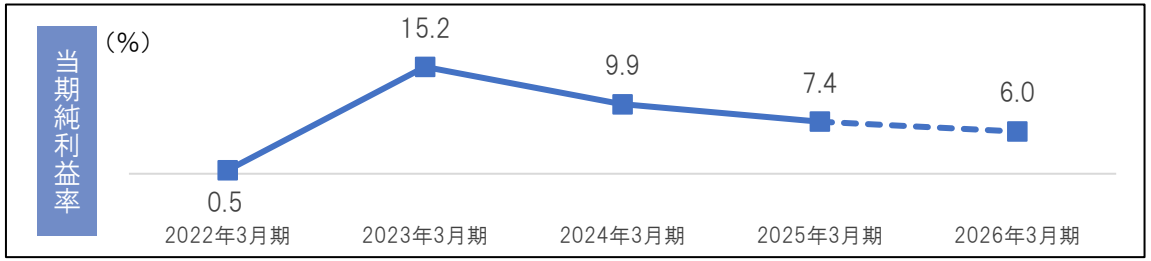
資本コストや株価を意識した経営② 現状分析【ROE分解】

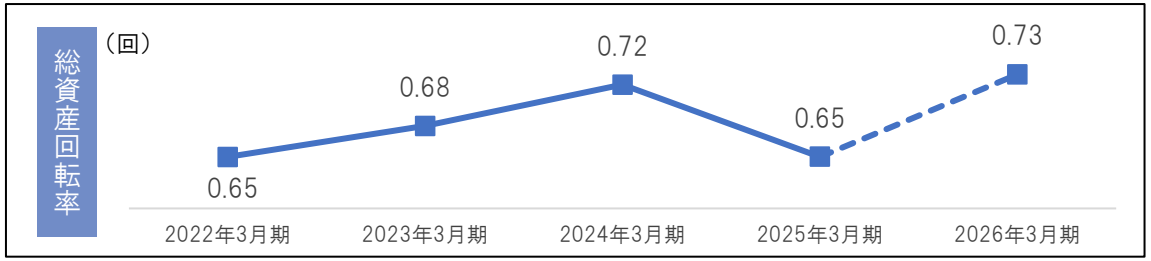
ROEの分解

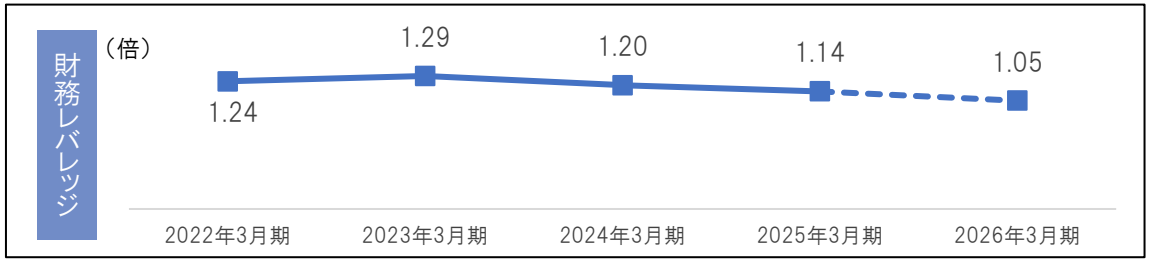
◆ROE＝当期純利益率 × 総資産回転率 × 財務レバレッジ

$$\frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}} \quad \frac{\text{売上高}}{\text{総資産}} \quad \frac{\text{総資産}}{\text{自己資本}}$$

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 予想
ROE	△4.6%	13.9%	8.8%	5.7%	4.7%







現状分析

■当期純利益率

【遊技機の販売台数】

パチンコ遊技機（ラッキートリガー3.0プラス）、パチスロ遊技機の販売台数に左右される。

■総資産回転率

【流動資産】

現預金および棚卸在庫を多く保有しており、総資産が大きくなる傾向にある。

【総資産の肥大化】

「その他有価証券」の評価差額金による資産額の増加などもあり、1.00を継続して下回る。

■財務レバレッジ

【自己資本比率が高い】

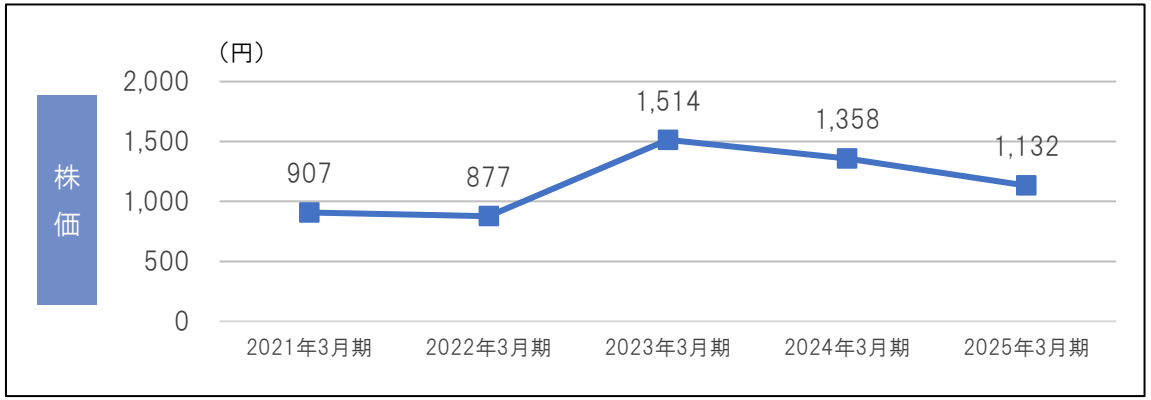
規制産業であるため設備投資や先行開発が必要となり、一定程度の現預金を確保しておく必要がある。（自己資本比率：2025年3月期で88.0%）

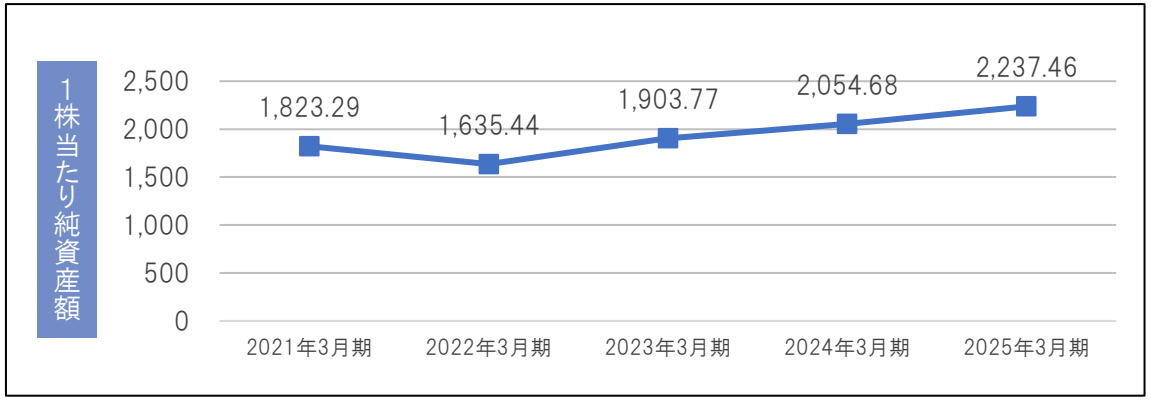
資本コストや株価を意識した経営③　現状分析【PBR】

PBRの推移と分解

◆PBR＝株価÷1株当たり純資産額

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
PBR	0.50	0.54	0.80	0.66	0.51





現状分析

■株価

【業界特有の不確実性】

・ヒットタイトルの有無や規則改正の有無次第で、収益が大きく左右される。

【時勢による評価の問題】

・物価上昇による「原価高騰」・「レジャーの多様化」・「消費者支出の動向」など、外的要因も市場からの評価に影響。

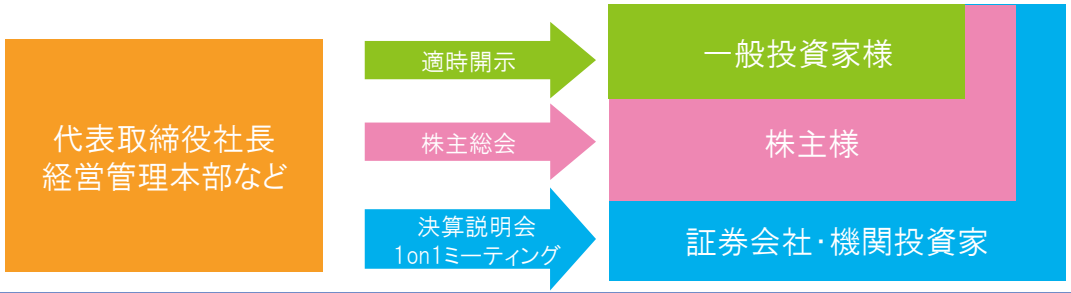
【流通株式数比率】

・2024年3月末時点、当社の流通株式数比率は約25.8%。

⇒資本政策を推し進め2026年9月末には、約30.0%まで向上。

■株主との対話

対話の機会が、限定的。

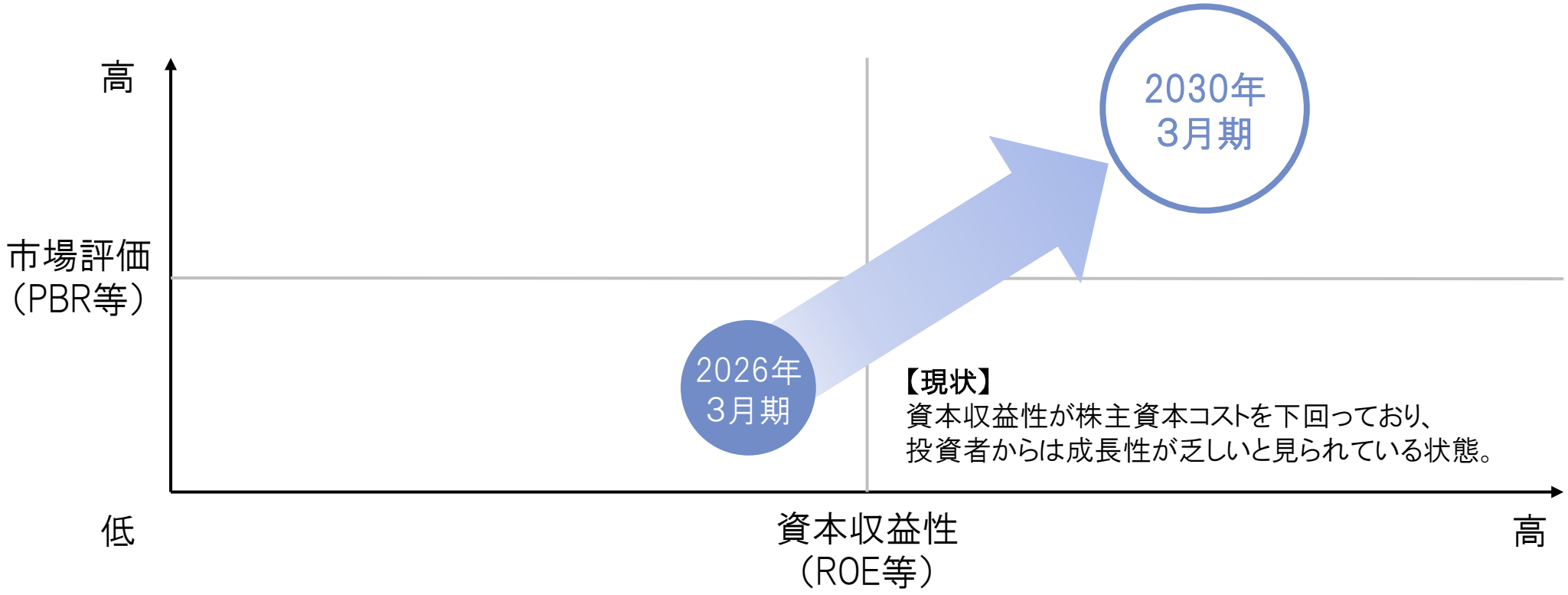


資本コストや株価を意識した経営④　課題と対策（１）

現状分析で把握した当社のポジションと目標（マトリクス分析）

【将来像】

2026年3月期からPBR・ROEの改善を図り、2030年3月期でPBR1.0倍、ROE8.0%を目標に取り組みを行う。



資本コストや株価を意識した経営④　課題と対策（２）

課題：市場評価PBRおよび収益性ROEの改善

ROEの改善の対策を行いつつ、PBR１倍を目指し、資本政策の充実を優先して行う。

市場評価PBRの改善

資本政策の充実

①配当性向30%以上かつ下限は1株当たり年間50円の継続。
②資本政策を推進し、流通株式比率35%以上を目指す。

資本収益性ROEの改善

- 売上高純利益率
- 総資産回転率

収益性についての課題
・遊技機の利益率の改善
・タイアップ競争に伴う使用版権の確保、使用料の増加

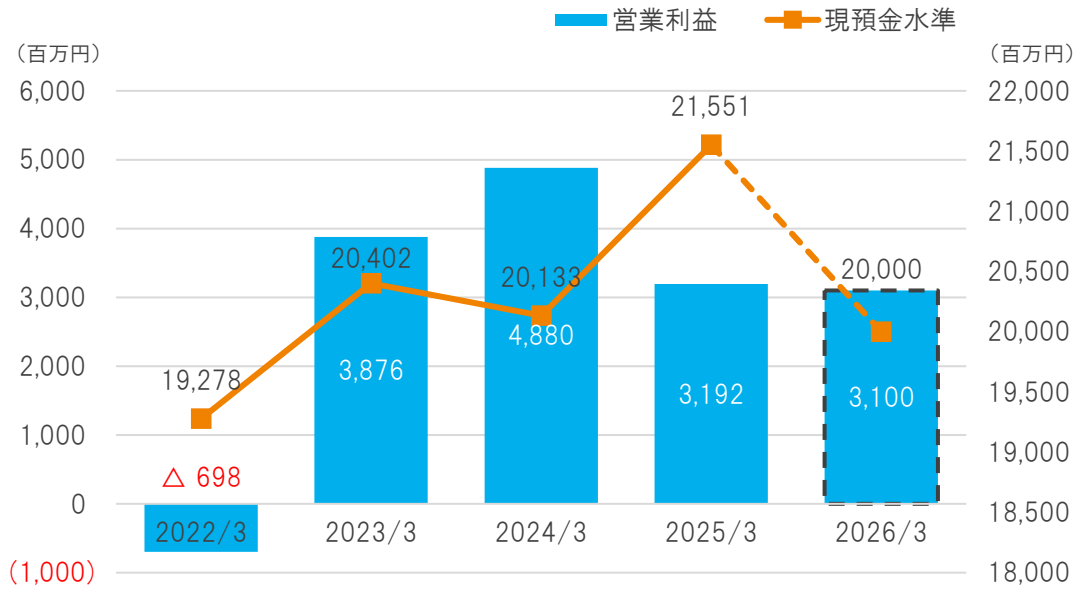
売上高についての課題
・市場ニーズに沿った販売ラインナップ
・パチンコ、パチスロの安定した市場投入

資産効率についての課題
・資産の肥大化
・適切な事業ポートフォリオ

- 対策①　部品共通化の推進とリユースの強化
- 対策②　“ヒト味”違うトレンドを生み出しつつ、新たなヒット機種を創出し、P・Sの2軸体制を確立する
- 対策③　「anime blast」によるアニメ業界の活性化 使用版権のブランド化・認知度の向上
- 対策④　パチスロ遊技機（スマートパチスロ）の年間4機種販売
- 対策⑤　遊休資産の効率化で資産をスマート化

資本コストや株価を意識した経営⑤　分配方針

近年の当社の財務状況



・規制産業であり安定的に研究投資を行うため、
潤沢なキャッシュが必要となる。
⇒資本効率の向上に取り組み、潤沢な純資産から
積極的に成長投資を行い、ROE改善に努める。

資産分配方針

効率的な資産分配を行う方針を2025年3月期より策定し実施。

1. 企業の持続的成長を促す
2. 財務の健全性を保つ
3. 株主様とさらなる信頼関係を築く

さらなる成長を目指し、以下の分配方針を決定。

●成長投資（パチスロ遊技機の開発ライン増強、アニメ版権の育成、人材確保）

・パチスロ遊技機の開発ライン数を増強中。
・アニメ版権の投資を推進し、版権自体の「ブランド化」「認知度向上」を目指す。

●安定的な株主還元

・配当方針は、配当性向30%かつ下限は1株当たり年間50円を継続

資本コストや株価を意識した経営⑥　市場との対話

市場との対話

・市場との対話を積極的に進める。

⇒市場との対話を重視し、経営戦略や業績の透明性を高める。

⇒市場からの意見は、今後の成長戦略や機種開発に活かす。

61期の資本市場との対話の主なテーマ

業績関連	・市場環境変化への対応 ・新規発売機種について ・新規事業への参入について
成長戦略	・パチスロ遊技機事業の年間販売数の増加について ・「animeblast」の取組内容と今後の展望
資本政策	・配当政策の維持や拡充 ・オーナー株比率について

資本市場との対話について

資本市場 ⇔ 建設的な対話 ⇔ 当社

✓ 対応実施中

対話継続中

業績	・遊技機市場は縮小傾向だが業績は維持できるのか ・新規事業を立ち上げ方針はあるのか	対話継続中	・まずは、遊技機メーカーとして業界内の地位を築き業績の向上をしていきたいと考えています。 将来的には多角化を行っていけるよう議論は進めております。
成長戦略	・パチスロについては、今後市場投入数を増やす方針か	✓	・1事業年度あたり市場投入タイトル数を1タイトル増加し、3タイトルにするため、開発ラインを増強しました。 今後も更なる開発ライン増強を進めてまいります。
資本政策	・有価証券報告書に記載の【配当政策】については、今後も維持していく方針か	対話継続中	・配当性向30%以上を目指し、安定配当の1株当たり下限年間50円を継続する方針です。業績のベースラインが上がれば、下限変更や配当性向のベースを上げることも検討していきたいと考えています。

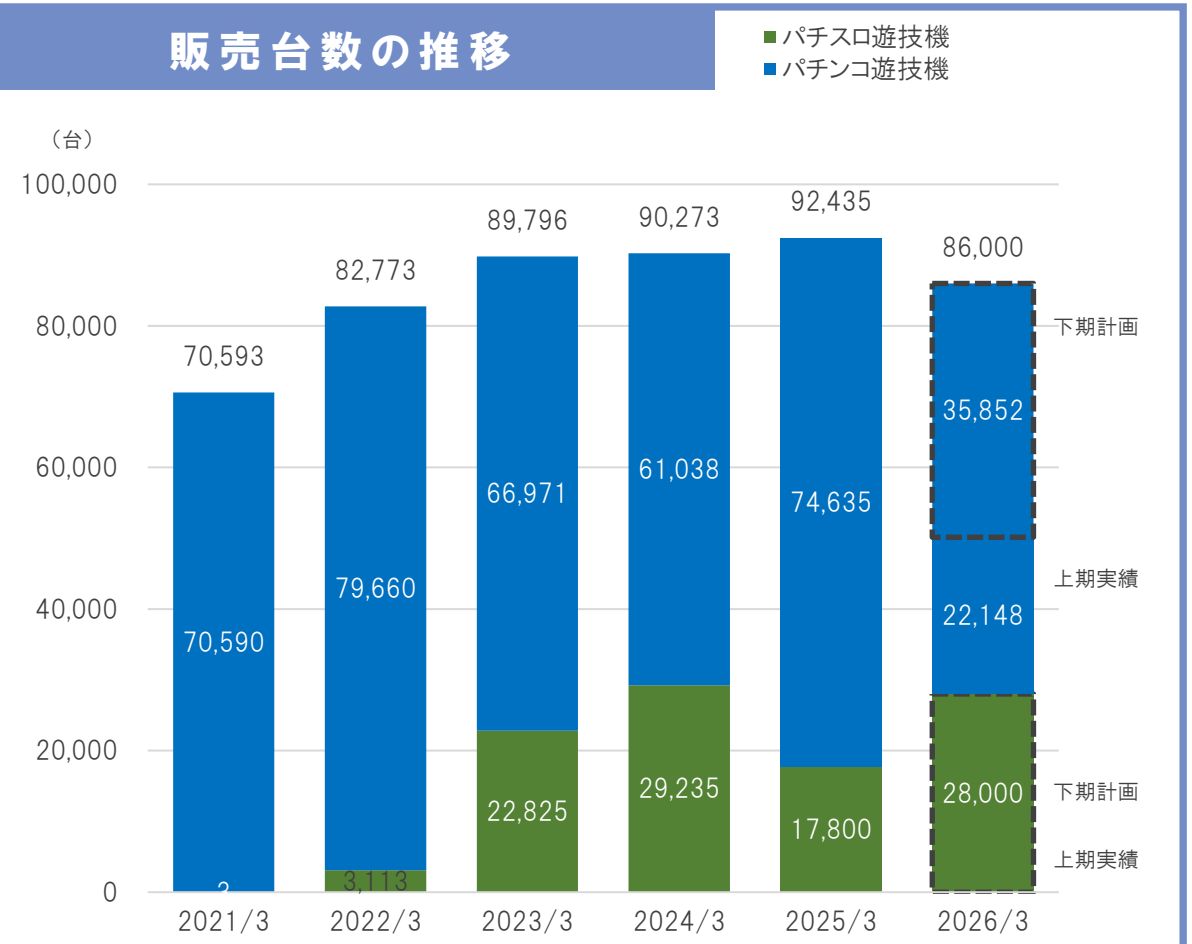
ヒト味違う“オモシロ”さ！
FUJI
FUJI
FUJI-SHOJI GROUP

参考資料

ヒト味違う発想で、一歩先の“オモシロ”さを目指して！

業績推移① 売上高・販売台数等

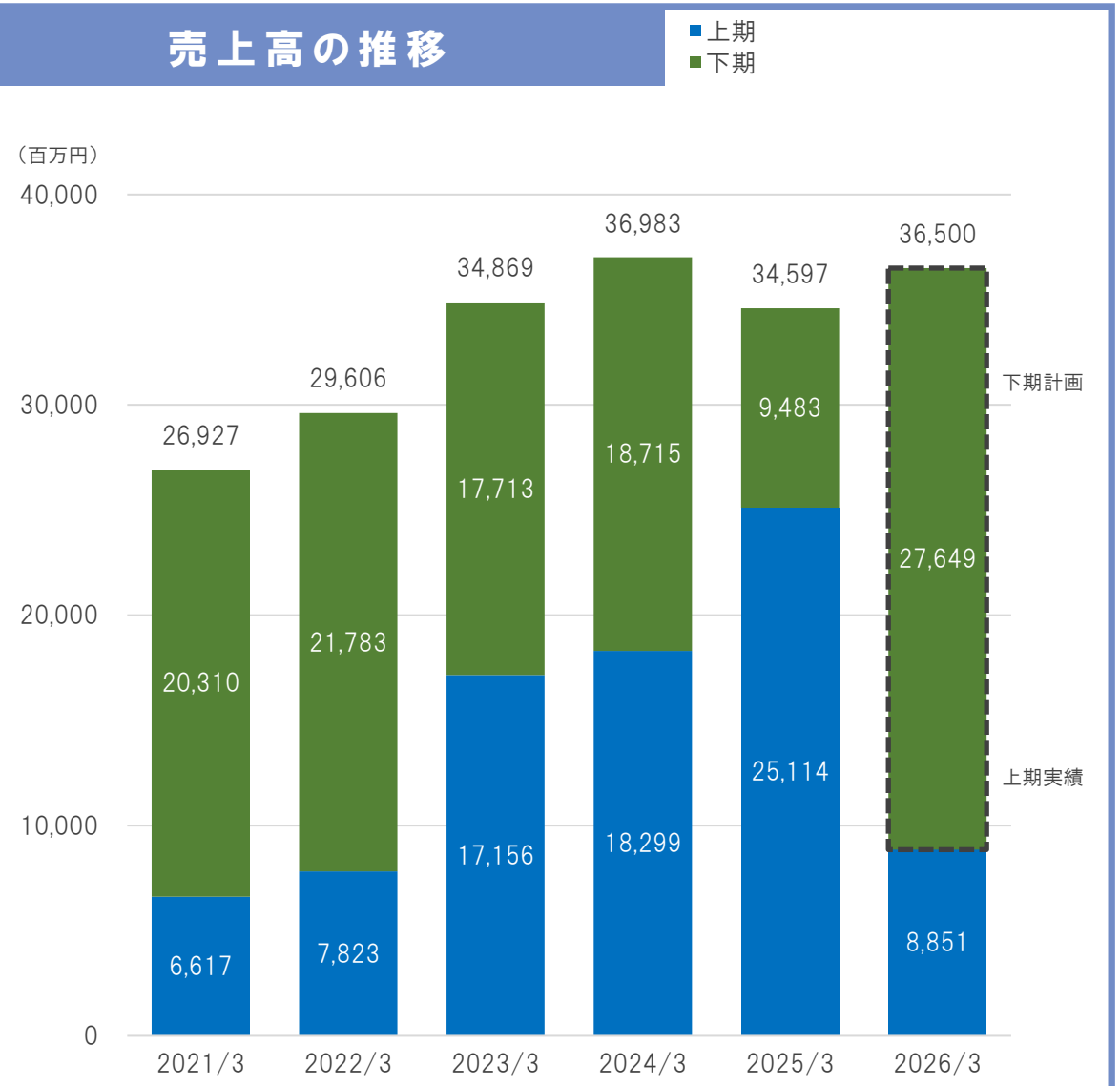
販売台数の推移



投入機種数						
パチンコ	6	6	4	8	5	—
パチスロ	0	1	4	4	2	—
合計	6	7	8	12	7	—

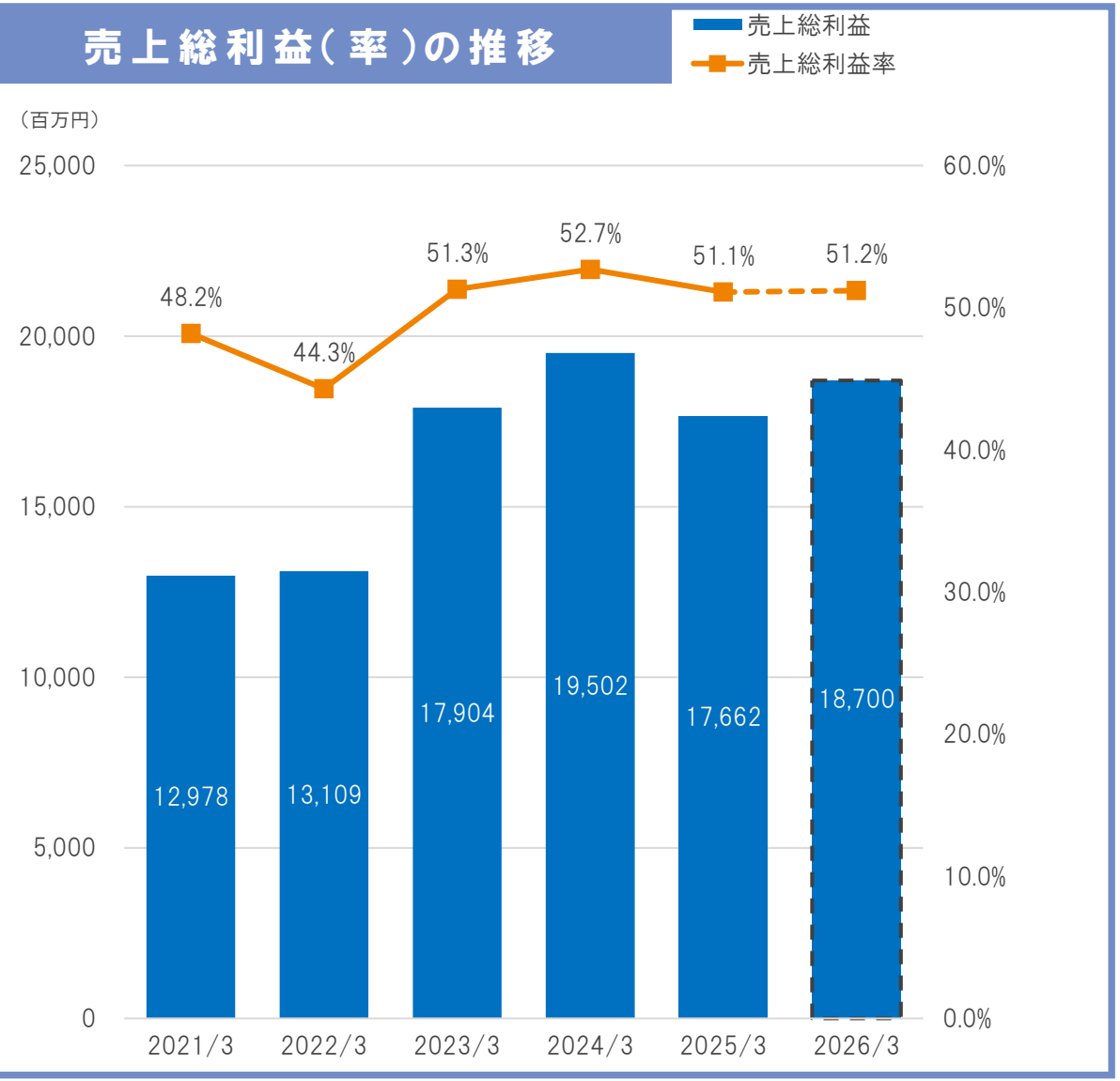
投入機種数は新規タイトル数

売上高の推移

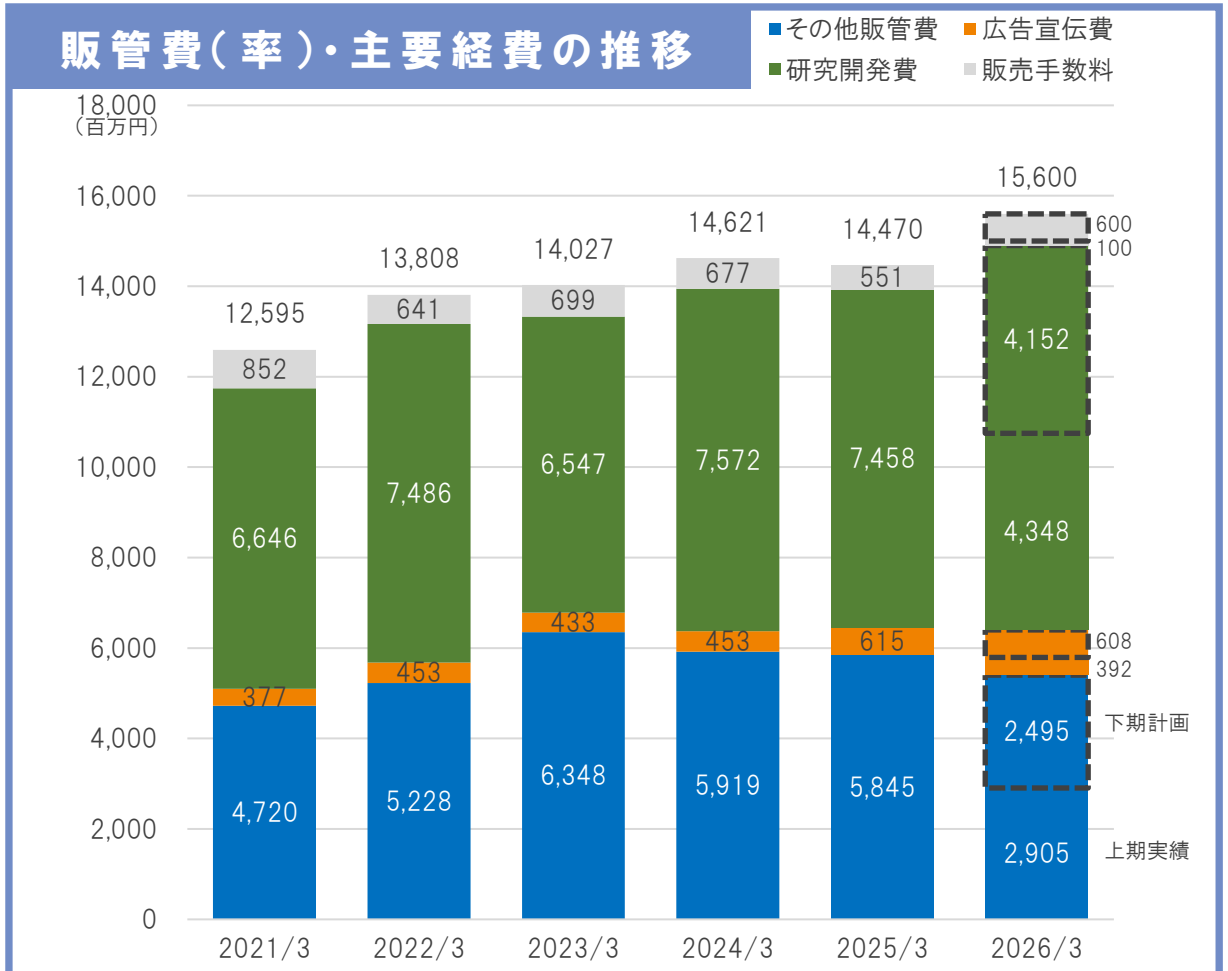


業績推移② 売上総利益・販管費

売上総利益(率)の推移



販管費(率)・主要経費の推移

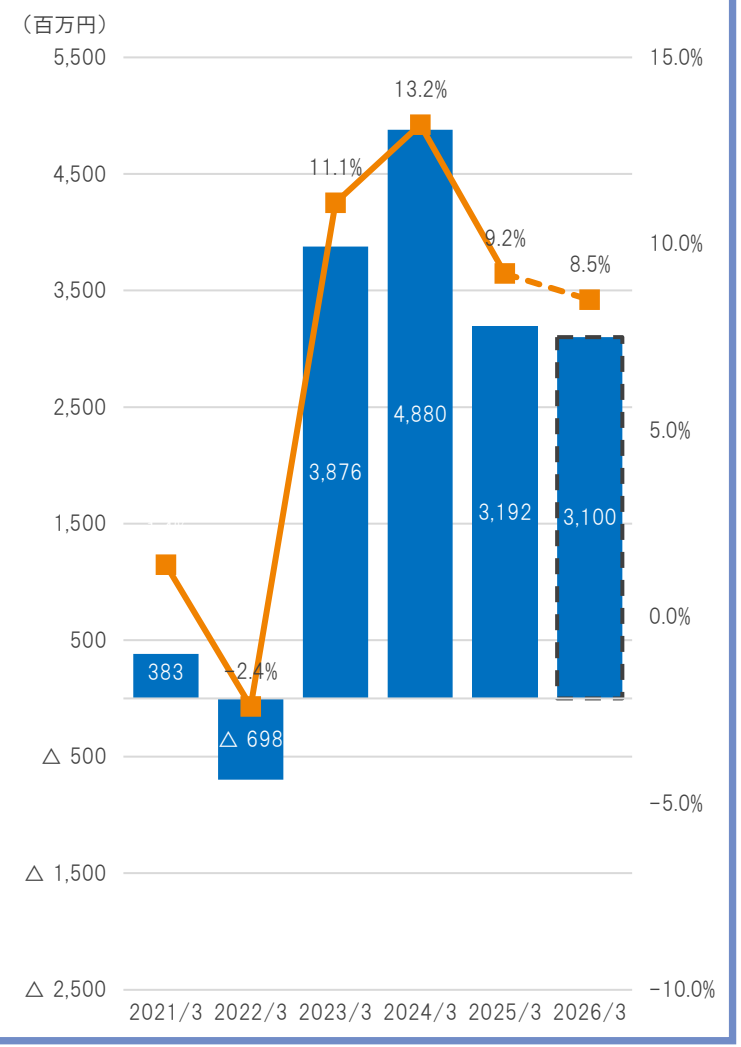


	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3
販管費率	46.8%	46.6%	40.2%	39.5%	41.8%	42.4%
販売手数料率	3.2%	2.2%	2.0%	1.8%	1.6%	1.9%
研究開発費率	24.7%	25.3%	18.8%	20.5%	21.6%	23.5%
広告宣伝費率	1.4%	1.5%	1.2%	1.2%	1.8%	1.9%

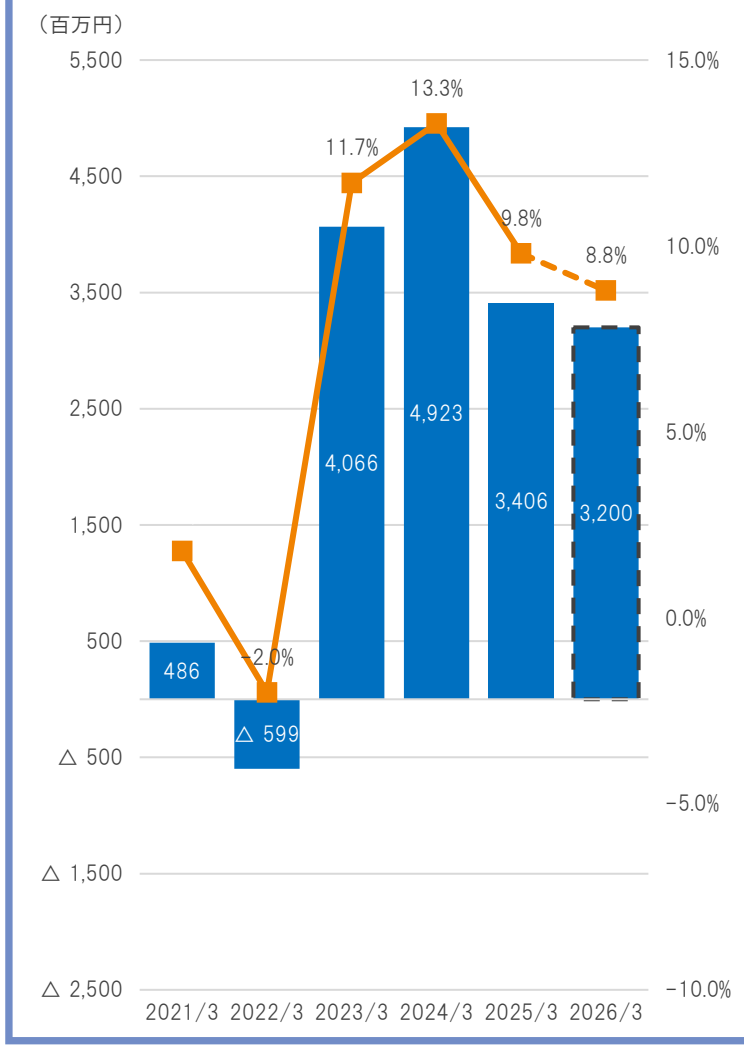
※各比率は売上高に対する比率

業績推移③　営業利益・経常利益・当期純利益

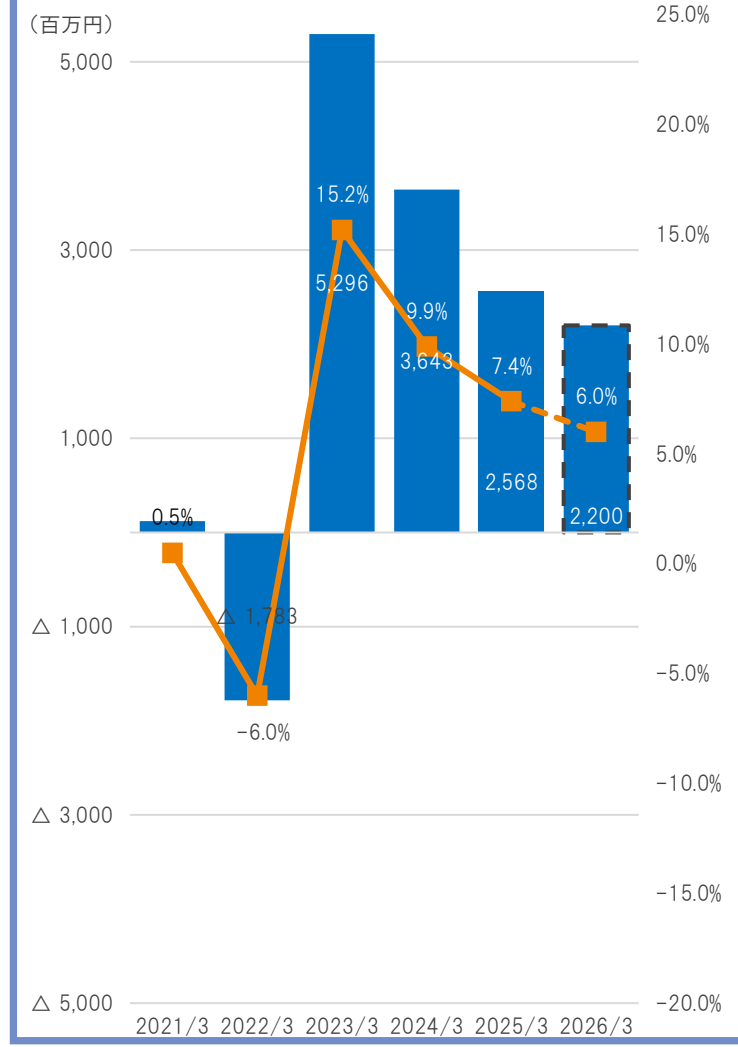
営業利益(率)の推移



経常利益(率)の推移



当期純利益(率)の推移



会社基本情報・企業ロゴ

会　社　名	株式会社　藤商事
設　　立	1966年10月
代表者名	代表取締役社長　　今山　武成
資　本　金	32億81百万円（2025年9月30日現在）
売　上　高	369億円（2024年3月期）
従業員数	469名（2025年9月30日現在）
事業内容	■パチンコ遊技機、パチスロ遊技機の開発・製造・販売

コーポレートスローガン

＜ヒト味違う発想で一歩先の“オモシロ”さを目指して！＞

■「ヒト味」は「人間味」を表しており、パチンコ・パチスロに情熱を持ち続け、可能性のある限り挑戦するモノづくりに取り組む姿勢を表しております。

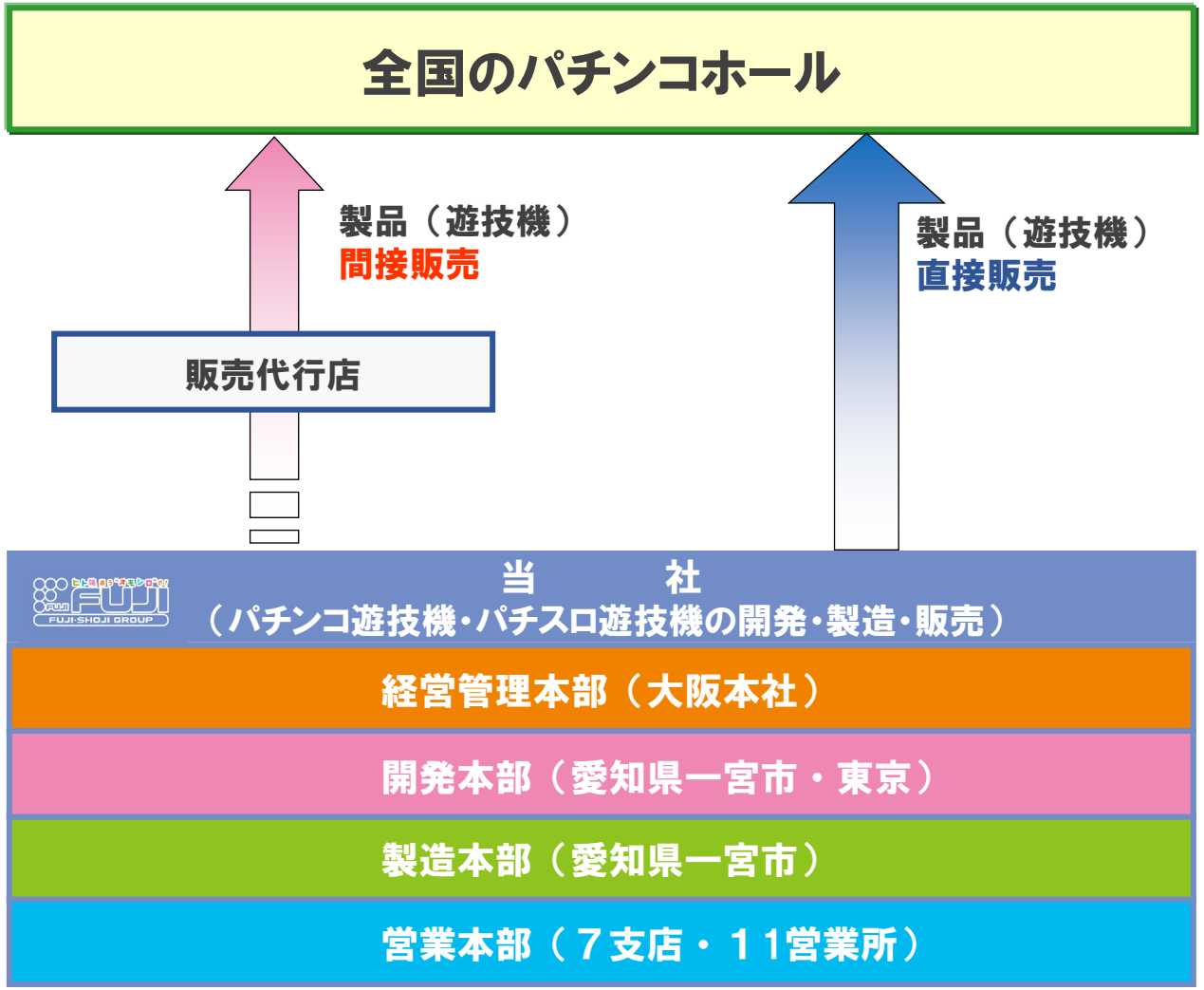
■このコーポレートスローガンを「ヒト味違う “オモシロ” さ！」と短縮し、企業ロゴに表示しております。

主な会社沿革

1966年10月	じゃん球遊技機の開発、製造および貸付を目的とし、株式会社藤商事を設立
1973年10月	アレンジボール遊技機の製造および販売を開始
1989年11月	パチンコ遊技機事業に参入
	パチンコ遊技機の製造および販売を開始
2003年９月	パチスロ遊技機事業に参入
	パチスロ遊技機の製造および販売を開始
2007年２月	ジャスダック証券取引所に上場
2010年４月	ジャスダック証券取引所と大阪証券取引所の合併にともない、
	大阪証券取引所JASDAQ市場に上場
2013年３月	サン電子株式会社と資本・業務提携契約を締結
2013年７月	東京証券取引所と大阪証券取引所の合併にともない、
	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場
2014年３月	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)にて貸借銘柄に選定
2022年４月	東京証券取引所の市場区分見直しにより、東京証券取引所スタンダード市場に上場
2022年６月	監査等委員会設置会社へ移行

©藤商事

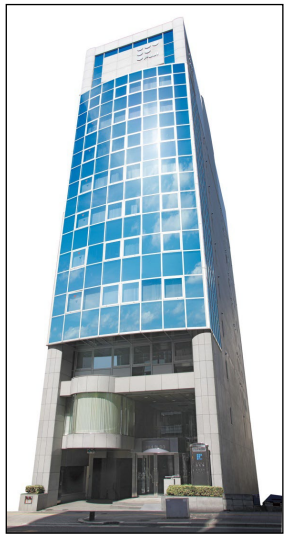
事業概要



連結子会社：株式会社ＪＦＪ・株式会社オレンジ・株式会社ミラクル
持分法非適用関連会社：株式会社サンタエンタテイメント・株式会社アイル

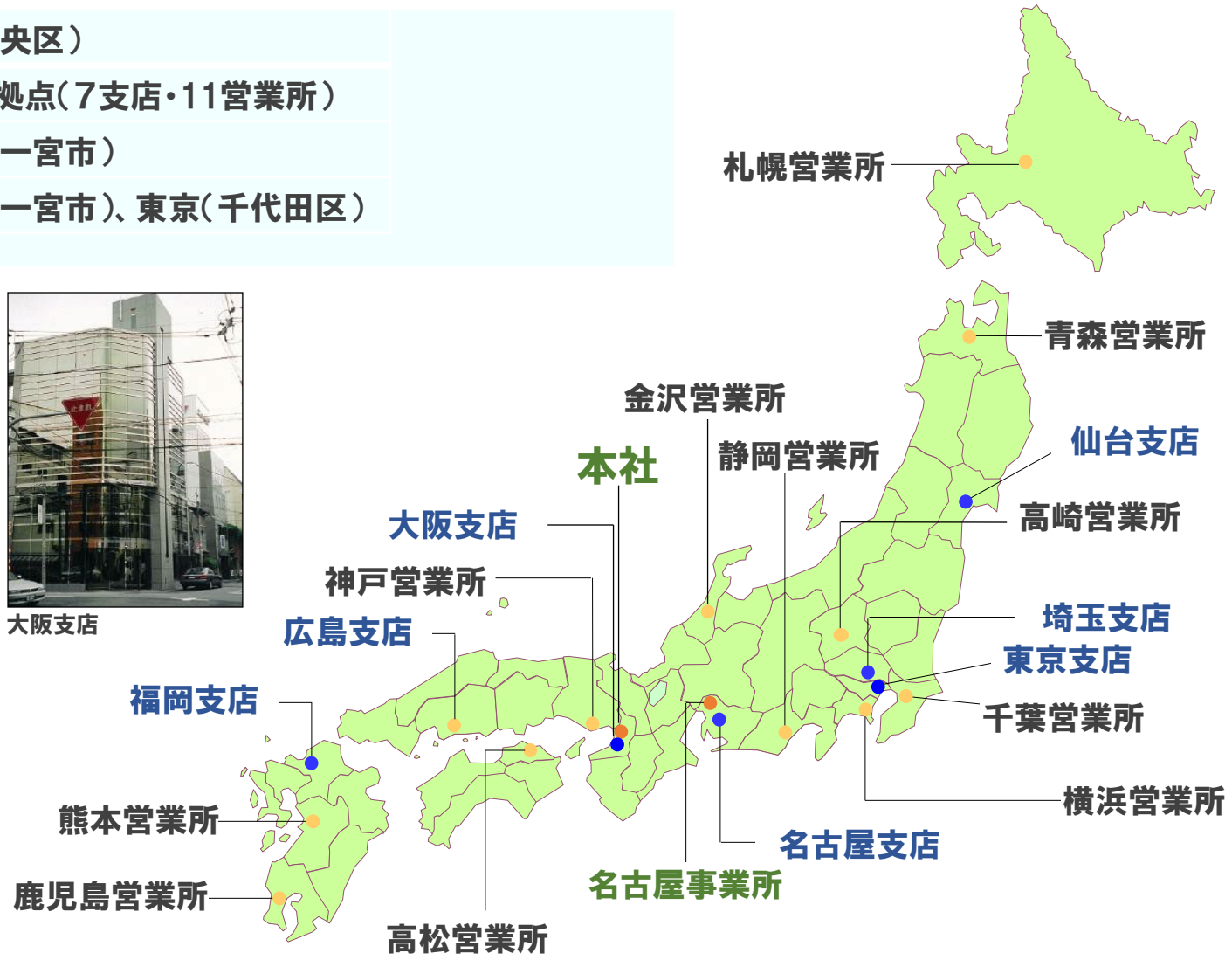
地域展開の状況

本　　社	：	大阪(中央区)
営業拠点	：	全国18拠点(7支店・11営業所)
製造拠点	：	愛知県(一宮市)
開発拠点	：	愛知県(一宮市)、東京(千代田区)



本社

大阪支店



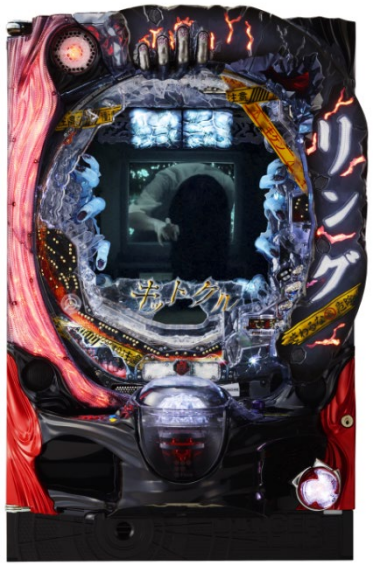
東京支店

名古屋事業所（本館）

名古屋事業所（西館）

遊技機の販売形態

パチンコ遊技機　サイドユニットシステム



©1999鈴木光司 発行：株式会社KADOKAWA 角川書店
©1998「リング」「らせん」製作委員会
©1999「リング2」製作委員会

サイドユニット（専用または汎用）

盤面（パネル）

パネル販売では盤面のほか、サイドユニット（機種専用または汎用）が付属します

本体販売　　**パネル販売**

外枠（本体）は一度購入すれば以後の機種では、盤面（パネル）とサイドユニットの入替を行うことにより、継続して使用可能。
本体枠をモデルチェンジした最初の機種は、すべて枠付きの本体販売となる。

パチスロ遊技機　分離筐体システム

©地獄少女プロジェクト／宵伽製作委員会

機種変更時に交換

回胴部ユニット

下パネル

筐体販売　　**ユニット販売**

機種変更の際に「回胴部ユニット」と「下パネル」を交換可能なシステムを採用し、パチンコホール様の利便性を向上。

主な発売機種

発売年	区分	機種名
1966年	じゃん球	じゃん球
1987年	アレンジボール	「シャトル21」
1989年	パチンコ	「スリングショット」 ※当社初のパチンコ遊技機
1992年	アレンジボール	「アレジン」、「エキサイト」
	アレンジボール	「CRプレジデント5」 ※当社最後のアレンジボール遊技機
2000年	パチンコ	「CRゲゲゲの鬼太郎」 ※当社初の版権パチンコ
2002年	パチンコ	「CRダイナミックショット」 ※業界初の「チャンスボタン」搭載機
2003年	パチスロ	「ツインバーニング」 ※当社初のパチスロ遊技機
2007年	パチンコ	「CR宇宙戦艦ヤマト」 ※当社の歴代最多販売台数を記録（CR機以降）
	パチンコ	「CRリング」
2011年	パチンコ	「CR地獄少女」
2012年	パチンコ	「CR RAVE エンドレスバトル」
2014年	パチンコ	「CR緋弾のアリア」
2016年	パチンコ	「CR遠山の金さん 二人の遠山桜」
	パチスロ	「パチスロ 緋弾のアリア」
2018年	パチンコ	「CR FAIRY TAIL」
2020年	パチンコ	「Pとある魔術の禁書目録（インデックス）」
2022年	パチンコ	「Pとある科学の超電磁砲（レールガン）」
	パチスロ	「SLOT とある科学の超電磁砲」
2023年	パチスロ	「Lゴブリンスレイヤー」 ※当社初のスマートパチスロ
	パチンコ	「スマパチ RAVE 覚聖ループ」 ※当社初のスマートパチンコ
2024年	パチンコ	「P緋弾のアリア ～緋緋神降臨～ ラッキートリガーVer.」 ※当社初の「ラッキートリガー」搭載機
	パチンコ	「P貞子」 ※当社初の「BIGスタート」搭載機
2025年	パチンコ	「e一方通行　とある魔術の禁書目録」 ※当社初の「ラッキートリガー3.0プラス」搭載機

©藤商事

アレジン
（1992年）

©1998「リング」「らせん」製作委員会

CRリング
（2007年）

Pとある魔術の禁書目録（インデックス）
（2020年）

©鎌池和馬／アスキー・メディアワークス／PROJECT-INDEX
©鎌池和馬／アスキー・メディアワークス／PROJECT-INDEX Ⅱ
©鎌池和馬／アスキー・メディアワークス／PROJECT-INDEX MOVIE
©2017 鎌池和馬／KADOKAWA　アスキー・メディアワークス／PROJECT-INDEX Ⅲ

Pとある科学の超電磁砲（レールガン）
（2022年）

©鎌池和馬／冬川基／アスキー・メディアワークス／PROJECT-RAILGUN
©鎌池和馬／冬川基／アスキー・メディアワークス／PROJECT-RAILGUN S
©2018 鎌池和馬／冬川基／ KADOKAWA／PROJECT-RAILGUN T

パチンコ・パチスロについて①

パチンコ遊技機には大当たり確率(※)があり大別すると、以下のように分けられます。

(※)大当たり確率とは、遊技を始めてから、初めて大当たりするまでの確率を指します。

(注)大当たり確率の区分は当社基準によります。

パチンコ遊技機

ミドル（1/300～）

©鎌池和馬／アスキー・メディアワークス／PROJECT-INDEX
©鎌池和馬／アスキー・メディアワークス／PROJECT-INDEX Ⅱ
©鎌池和馬／アスキー・メディアワークス／PROJECT-INDEX MOVIE
© 2017 鎌池和馬／KADOKAWA アスキー・メディアワークス／PROJECT-INDEX Ⅲ

最も大当たりしにくいタイプだが、
大当たりした時の出玉が多い傾向にある。

代表機種：
Pとある魔術の禁書目録2（インデックス）

ライトミドル（1/100～299）

©赤松中学 2008-2011
©2011 赤松中学・株式会社KADOKAWA メディアファクトリー刊／東京武偵高校

比較的大当たりしやすいタイプ。
継続率が高い機種であれば、
ミドルタイプ級の出玉獲得も期待できる。

代表機種：
P緋弾のアリア ～緋弾覚醒編～

甘デジ（1/99以上）

©真島ヒロ／講談社
©真島ヒロ・講談社／フェアリーテイル製作委員会・テレビ東京

出玉は少ないが、大当たりしやすいタイプ。
ゆっくり遊技したい方におすすめ。

代表機種：
P FAIRY TAIL 89Ver.

パチンコ・パチスロについて②

パチスロ遊技機は、大別すると以下のタイプに分けることができ、「A＋RT」のようにタイプが複合することもあります。大当たり確率は、設定ごとに異なります。

パチスロ遊技機

Aタイプ（ノーマルタイプ）

ボーナスに当選することでメダルを増やすタイプ。
分かりやすいゲーム性であることが多い傾向にある。

BT（ボーナストリガー）

Aタイプにボーナスループの出玉感をプラスすることで、ATとAタイプの中間に位置するタイプ。

RT（リプレイタイム）

©2016「貞子vs伽椰子」製作委員会

「リプレイ」(※)の確率が上がることで、メダルを減らさずに遊ぶことができるタイプ。大当たりすることでメダルが増える「Aタイプ」と複合したタイプになることがある。

代表機種：**パチスロ　貞子vs伽椰子**

ART（アシストリプレイタイム）

©真島ヒロ／講談社　©真島ヒロ・講談社／フェアリーテイル製作委員会・テレビ東京

大当たりしていない通常時に比べると「リプレイ」(※)の確率が上がり、映像・音声などによって押す順番を知らせてくれることでメダルが増えやすくなるタイプ。

代表機種：**パチスロ　FAIRY　TAIL**

AT（アシストタイム）

©蝸牛くも・SBクリエイティブ／ゴブリンスレイヤーGC製作委員会

映像・音声などによって押す順番を知らせてくれることでメダルが増えやすくなるタイプ。ARTに比べると、大当たり時以外でも「リプレイ」(※)の確率が高い傾向にある。

代表機種：**Lゴブリンスレイヤー**

(※)「リプレイ」とは、メダルを使わずにもう一回遊技できる役のこと。

お問い合わせ先

株式会社 藤商事　　経営管理本部

https://www.fujimarukun.co.jp/contact/

fuji-ir@fujimarukun.co.jp

■ 本資料は、当社の事業内容をご説明するために、現時点で入手できる情報に基づき作成したものです。
本資料を作成するにあたっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
本資料の情報によって生じた障害・問題等に関しては、当社は一切責任を負うものではありませんので、ご了承ください。

■ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は、遊技機の型式試験の適合状況をはじめ、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
投資を行う際には、投資家ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。